

2024年2月9日  
2024年3月期第3四半期  
決算説明会資料

 働きものを、幸せものに。  
**NISO** NISSOホールディングス  
東証プライム市場 コード9332

N I S S O H D、連結営業利益は前期比+46.5%  
在籍人数の増加・受注単価の上昇等により売上高・利益ともに伸長

N I S S Oホールディングス株式会社 代表取締役社長執行役員兼CEO 清水竜一

令和6年能登半島地震により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々に謹んでお悔みを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地におきまして救済と復旧・復興支援等の活動にご尽力されている方々に深く敬意を表します。

被災地域の皆様の安全確保と、被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

清水竜一：本日は当社第3四半期の決算説明会をご視聴いただき、誠にありがとうございます。代表取締役社長執行役員兼CEOの清水竜一です。

本年1月1日に能登半島を中心に非常に大きな地震が襲いました。犠牲になられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地において救済や復旧・復興にご支援、ご尽力されている方々に心から深く敬意を表します。

当社グループの従業員のうち10数名が、石川県の穴水エリアで働いています。ご自宅から通われている方は地元を離れがたいということで、まだ10数名の方が避難所にいると聞いています。一日も早く仮設住宅などに引っ越すことができることを願っています。

- 1 2024年3月期 第3四半期 決算概要
- 2 2024年3月期 第3四半期 サービス別業績について
- 3 日総グループの成長に向けて
- 4 日総グループ トピックス
- 5 今後の見通し（2024年3月期）
- 6 株主還元方針
- 7 2024年3月期 第3四半期 財務状況
- 8 用語集

本日は、目次に沿って進めていきます。

1

# 決算概要 (2024年3月期 第3四半期)

## 2024年3月期 第3四半期 実績

- 連結売上高は前年同期比で7.9%増加
- 連結営業利益は前年同期比で46.5%増加
- オートモーティブは回復基調も、メーカーの度重なる稼働停止の影響が拡大
- エンジニア系人材サービスは、セミコンダクターの影響もあり低調
- 介護・福祉サービスは前年同期比で増収増益

サマリーはスライドに記載のとおりです。

(単位：百万円)

## ポイント

## 営業利益、前年同期比46.5%増加

- ・ 在籍人数の増加もあり、売上高は前年同期比で7.9%増加。
- ・ 介護・福祉サービスは前年同期比で増収増益。
- ・ 売上高伸長もあり販管費率は、前年同期比で0.3%減少。

	23年3月期 第3四半期		24年3月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	67,201	100.0%	72,534	100.0%	5,333	7.9%
売上総利益	10,576	15.7%	11,774	16.2%	1,198	11.3%
販管費	9,177	13.7%	9,726	13.4%	548	6.0%
営業利益	1,398	2.1%	2,048	2.8%	650	46.5%
経常利益	1,501	2.2%	2,129	2.9%	627	41.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	937	1.4%	1,395	1.9%	458	48.9%

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

5

連結業績ハイライトです。

前年同期比で営業利益は46.5パーセント、売上高は7.9パーセントとそれぞれ増加しました。

コロナ禍の影響はだいぶ弱まりました。現在、セミコンダクターインダストリー（半導体・半導体製造装置関連）の領域については、メモリの在庫調整や、前工程である半導体製造装置の減産がエンジニアの在籍減少につながり、稼働状況があまり芳しくありません。

その影響を受けて、エレクトロニクスインダストリー（通信機器・電子部品）の分野においても、生産の正常化に至っていません。

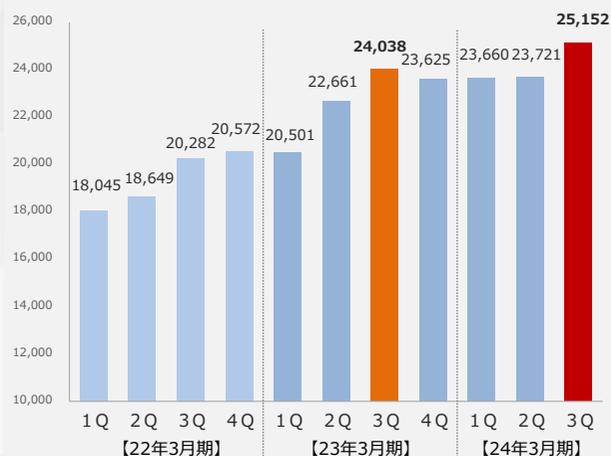
我々はこのような環境の中で、特にオートモーティブインダストリー（自動車・EV関連）の分野に積極的に対応することで、遅れを取り戻していく戦略を進めていきました。

しかしながら、今年度はさまざまな理由によって稼働停止が頻発した結果、一人当たりの月間稼働時間はほぼ昨年並みの状態となっています。

そのような中でも売上や利益が伸びた要因として、1つ目は、在籍人数、つまり働いている方々の数が増えたことが挙げられます。2つ目は、お客さまとの交渉により、受注単価が昨年に比べて3パーセント程度上がったことです。さらに販管費率が0.3パーセント減少していることも含めて、これらの結果が数字に表れたものと考えています。

売上高

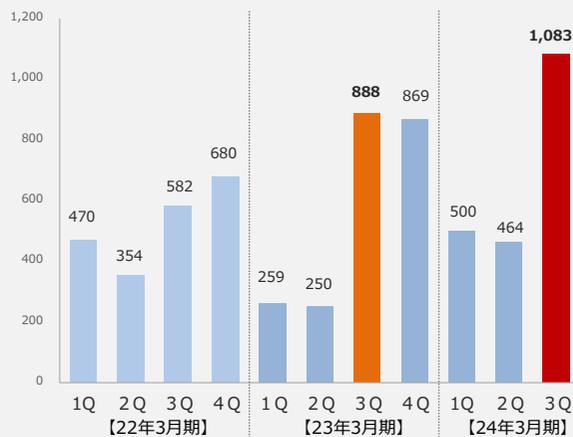
(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

3Qは前年同期比22.0%増加



四半期単位の売上高と営業利益の推移です。  
前年と比べて各四半期で利益が増えていることと、当初の想定どおり後半に利益が偏重していくことには変わりはありません。

## 2 サービス別業績について (2024年3月期 第3四半期)

(当社・持株会社)  
**NISSO** NISSOホールディングス NISSOホールディングス株式会社



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

当社は、昨年10月から持株会社化に移行しました。スライドには、ホールディングスの傘下にある各事業会社の編成を表しています。

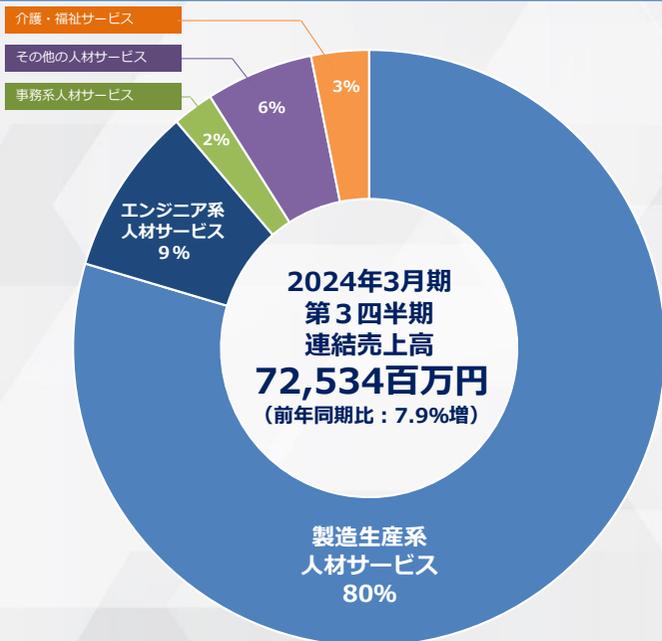
NISSOホールディングスの傘下に、総合人材サービスの日総工業、介護・福祉サービスの日総ニフティがあります。

総合人材サービスの日総工業とベクトル伸和は、製造生産系人材サービスならびにエンジニア系人材サービスを展開しています。

日総ブレインは事務系人材サービス、ニコン日総プライムと日総びゅあはその他の人材サービスを手掛けています。各人材サービスの詳細については、スライドをご覧ください。

# サービス別売上高

※内部取引は消去



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

9

サービス別の売上高です。  
スライド左側の円グラフは、サービスの構成比率を示しています。スライド右側の図は、第3四半期までのサービス別の売上高を表しています。

今後、我々はエンジニア系人材サービスの領域を特に強化することで、企業の成長にドライブをかけていきたいと考えています。

# 総合人材サービスについて

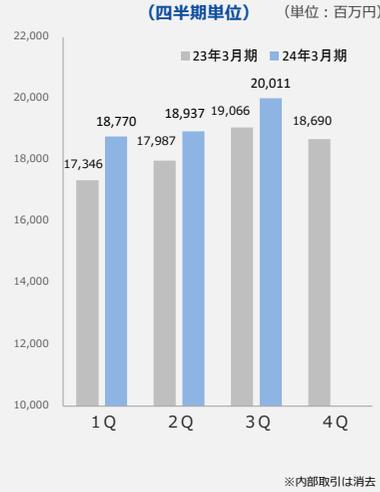
売上高について

3Qの製造生産系の売上高は、在籍人数の増加もあり、前年同期比で5.0%増加。

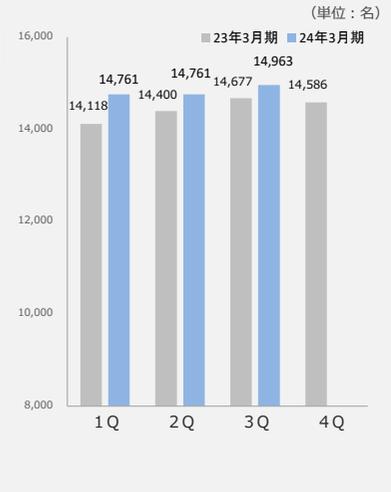
在籍人数について

製造生産系の在籍人数は、前年同期比で286名増加。

製造生産系 売上高



製造生産系 期末在籍人数



製造生産系人材サービスについてご説明します。

先ほど少し触れたとおり、オートモーティブインダストリーは当初の想定どおり回復軌道にあるものの、一部メーカーではさまざまな事情により、生産停止が発生しています。

セミコンダクターインダストリーについては、先ほどお伝えしたとおりの状況です。エレクトロニクスインダストリーはそれらの影響を受け、まだ正常化に至っていない状態です。

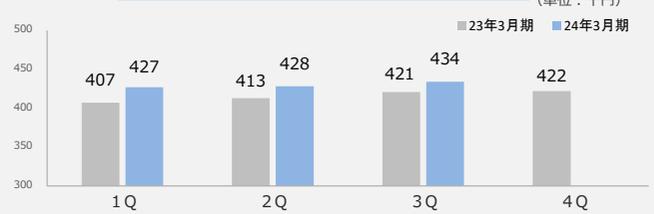
最初にお伝えしたオートモーティブインダストリーとセミコンダクターインダストリー、あるいはエレクトロニクスインダストリーの推移の状況は、概ね昨年と同じ一人当たりの稼働時間になっています。

在籍人数は前年同期に比べて286名増加し、第三四半期になりようやく増え始めています。在籍人数が1.9パーセントの増加に対し、売上高が5パーセント伸びているのは、先ほども触れたとおり受注単価が3パーセント上がったことが寄与していることご理解ください。

一人当たりの月平均売上高について

製造生産系の一人当たりの売上高は前年同期比で3.2%増加。

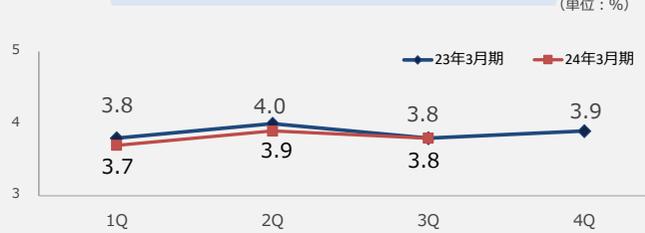
製造生産系 一人当たりの月平均売上高



離職率について

製造生産系の離職率は、前年同期比で同水準。4%未満を維持。

製造生産系 離職率推移



一人当たりの月平均売上高です。

自動車全体では回復基調になっているものの、いわゆる稼働停止も含めた平均で表すと、スライドのグラフに示したような状況になります。しかしながら、このような状況においても離職率が4パーセント未満を保持できているのは、ピープルマネジメントが機能しているからではないかと考えています。

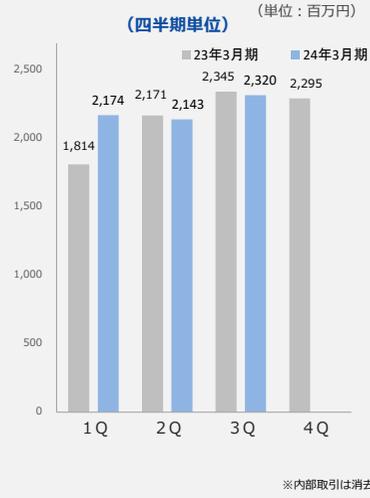
## 売上高について

- ・半導体メーカーの回復遅れが響き3Qのエンジニア系の売上高は前年同期比で1.0%減少も、2Q比で減少率が縮小し回復の兆し。
- ・累計では、前年同期比で4.8%増加。

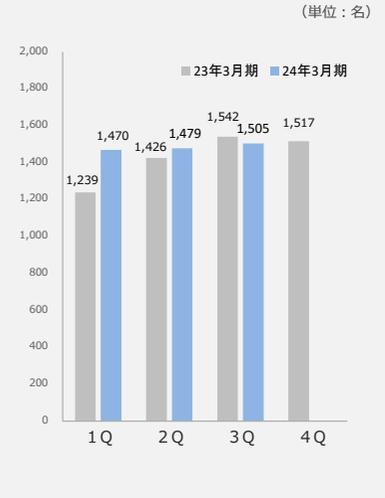
## 在籍人数について

売上高同様、回復遅れが響きエンジニア系の在籍人数は、前年同期比で37名減少も、2Q比で回復の兆し。

### エンジニア系 売上高



### エンジニア系 期末在籍人数



エンジニア系人材サービスについてです。

第3四半期は、売上高が前年同期比で1.0パーセント減少しているものの、第2四半期における前年同期比での減少幅と比較すると、回復の兆しが見えてきていると認識しています。

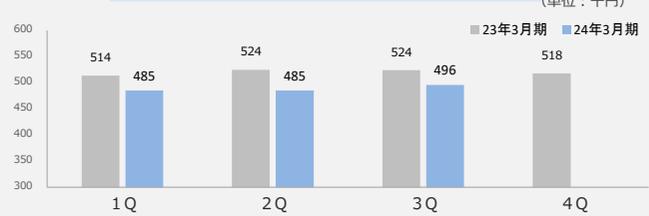
この理由として、第3四半期から、メモリを中心とした半導体工場において残業規制が解除されたことが大きくプラスに作用したものと考えています。今年度は第1四半期で比較的堅調に推移したということで、第3四半期までの累計で、売上高は前年同期比で4.8パーセント増加しました。

在籍人数については昨年末から減少傾向にありましたが、ようやく反転して増え始めた状態になっています。前年同期比で37名減少してはいるものの、第2四半期より改善し始めていることと、特に熊本エリアの新たな半導体のクライアントに人材の投入が始まったことが、この第3四半期の数字を押し上げた要因になっていると考えています。

## 一人当たりの月平均売上高について

エンジニア系の一人当たりの売上高は、半導体の低調な生産活動もあり前年同期比で減少も、2Q比で回復の兆し。

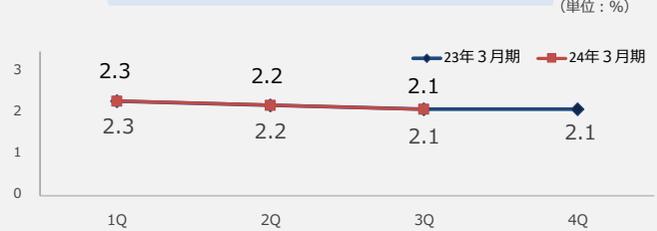
### エンジニア系 一人当たりの月平均売上高



## 離職率について

エンジニア系の離職率は、前年同様低水準を維持。

### エンジニア系 離職率推移



エンジニア系人材サービスの一人当たりの月平均売上高と離職率です。先ほどお伝えしたとおり、第3四半期で一人当たりの売上が少し伸びているのは、残業規制が解除されたことが影響していると考えています。

エンジニア系人材サービスの離職率は、前年と同様に低水準を維持しています。半導体メーカーあるいは半導体の前工程を中心とした装置メーカーには多くのエンジニアがおり、大変厳しい状況の中でも離職率が前年並みに抑えられていることは、うまくマネジメントができているものと考えています。

# 事務系・その他の人材サービスについて

## 事務系人材サービスについて

3Qの事務系の売上高は、在籍数減少もあり前年同期比で1.9%減少。

### 事務系 売上高



### 事務系 期末在籍人数



## その他の人材サービスについて

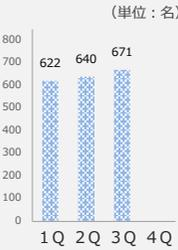
- 株式会社ニコン日総プライムは、プライム社員の活躍を支援、社員数は671名。
- 日総びゅあ株式会社は、多様な人材が活躍できる職場環境を構築し、障がい者社員数は224名。

※プライム社員：高年齢者社員

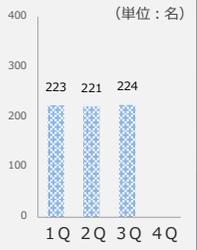
### その他 売上高



### プライム社員数



### 障がい者社員数



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

15

事務系・その他の人材サービスです。

当社における事務系人材サービスは一般事務が多く、昨今の新しい技術、例えばAIに置き換えられることにより減少傾向にあります。しかしながら、全体としての影響はそれほど大きくないと考えています。

その他の人材サービスについて、ニコン日総プライムは、当社で「プライム社員」と呼ばれる高年齢の方々の活躍の機会を作っています。つまり、ダイバーシティのような考え方を持っています。また、日総びゅあは、さまざまな障害をお持ちの方々がスキルを磨きながら活躍できる機会を作っています。こちらも適正に推移していると認識しています。

# 介護・福祉サービスについて

## 介護・福祉サービスは、施設介護、在宅介護を提供

### 施設介護

神奈川県横浜市にて、有料老人ホーム6か所を運営し入居者に対する介護サービスを提供。  
質の高いサービス提供をモットーに、施設における入居率は高い水準を維持。

### 在宅介護

介護ステーションを神奈川県横浜市に1か所、福島県いわき市に2か所、通所介護施設を福島県いわき市に2か所展開。

### 人材育成

質の高い介護を目指し、人材育成に注力。  
介護技術コンテストである第13回オールジャパンケアコンテストにすいとぴー金沢八景の社員が参加、入浴部門で優秀賞を受賞。

すいとぴー新横浜



すいとぴー港南台mio



すいとぴー金沢八景



すいとぴー本牧三溪園



すいとぴー三ツ境



すいとぴー東戸塚



日総工産と並列にある、介護・福祉サービスを展開する日総ニフティについて丁寧にご説明します。

施設介護では、スライド右側にある6つの施設を展開しています。我々は人材サービス会社のグループのため、介護サービスを行う方々の能力開発、あるいはスキルアップのための育成を行いながら、質の高いサービスを提供することをモットーに事業展開しています。そのため、高い施設入居率を維持しています。

在宅介護については、介護ステーションを神奈川県横浜市に1ヶ所、福島県いわき市に2ヶ所、通所介護施設を福島県いわき市に2ヶ所展開しています。後ほど少し触れますが、人材育成にも大変力を入れています。

また我々にとって励みになる話として、すいとぴー金沢八景の社員が、介護技術コンテストである「第13回オールジャパンケアコンテスト」の入浴部門で優秀賞を受賞したという、うれしいニュースがありました。

ポイント

- 介護施設全体の入居率は、93.8%と高水準で推移。
- 売上高は、前年同期比で1.0%増加。
- 売総額は、前年同期比で9.7%増加。
- 2023年12月、神奈川県と未病改善に係る事業の基本合意書を締結。

●介護・福祉サービス実績

※内部取引は消去

(単位：百万円)

	23年3月期 第3四半期	24年3月期 第3四半期	対前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	2,261	2,283	22	1.0%
売総額	230	253	22	9.7%

施設入居者数

(単位：名)

■ 入居者数 — 入居率



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

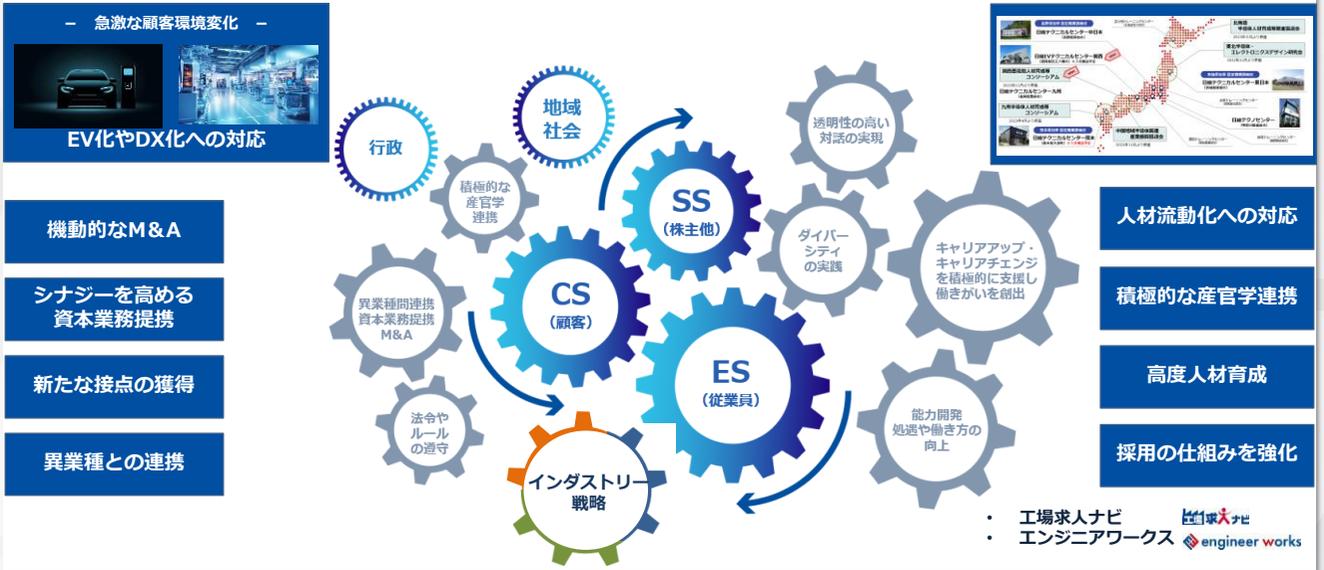
介護・福祉サービスの売上高と売上総利益です。

規模はそれほど大きくありませんが、増収増益となりました。スライド下段のグラフにあるとおり、94パーセント程度の入居率を維持していることは、大変評価を受けている証だと考えています。

昨年12月には、神奈川県と未病改善に係る事業の基本合意書を締結しました。介護状態にならないようにするためのさまざまな機能回復訓練などを、神奈川県とともに着実に取り組んでいくため、モデル施設を展開しています。

### 3 日総グループの成長に向けて

日総グループ 成長サイクルイメージ



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

スライドの図は、日総グループの成長サイクルの実現に向けたイメージを表しています。我々は人材サービスを展開しているグループであり、ES（従業員）、CS（顧客）、SS（株主他）それぞれの満足度を得るために、さまざまな打ち手を講じています。

スライドに「機動的なM&A」、「採用の仕組みを強化」などといった8つのキーワードを記載しています。それぞれにおいて具体的に、成長あるいはお客さまの信頼を得るために必要な取り組みを行っています。こちらの詳細は後ほどご説明したいと思います。

Society5.0を牽引する産業（インダストリー）へ、育成・人材輩出を通して貢献していく

アカウント戦略

インダストリー戦略 Society 5.0を牽引する産業



	オートモーティブ インダストリー	自動車/ EV関連
	セミコンダクター インダストリー	半導体/ 半導体製造装置
	エレクトロニクス インダストリー	通信機器/ 電子部品

総合人材サービスの拡大に向けた戦略についてご説明します。

我々は全体の売上の65パーセントを、オートモーティブインダストリー、セミコンダクターインダストリー、エレクトロニクスインダストリーの3分野で占めています。

当社では昨年度までアカウント戦略をとっていましたが、今年度からはインダストリー戦略に切り替えています。

今後、カバーしなければいけないお客さまの数が急激に増えていきます。営業戦略あるいは顧客管理を行う上で大変にはなるものの、これから安定的に成長するためにも、今年度からこちらの戦略に切り替えています。

それぞれのインダストリーの中で、これから数年先に大きな成長が見込まれるお客さまのニーズを深掘りしていくアクションを行います。そしてお客さまのニーズを深掘りしつつ、すぐには配属できないような高付加価値な人材、高スキルな人材をお客さまに計画的に配属することをとコミットしながら、人材確保に向けた質と量を十分に担保し、お客さまを広げていくという戦略です。

		オートモーティブインダストリー (自動車製造・EV関連製造業界)	セミコンダクターインダストリー (半導体製造業界)	エレクトロニクスインダストリー (電子機器製造業界)
上期	設備投資	徐々に拡大	拡大	横ばい
	生産動向	生産の増加は足踏み	製造装置・メモリは低調 パワー半導体は堅調	セミコンダクターと連動し低調
	稼働動向	部品不足の影響は継続	稼働は低調	稼働は低調
	要員動向	堅調	低調	低調
下期	設備投資	拡大	更に拡大	徐々に拡大
	生産動向	部品不足は解消も 認証問題等で生産が伸びず	製造装置は回復に遅れ メモリは低調	セミコンダクターに次いで回復
	稼働動向	メーカーの度重なる稼働停止 の影響が拡大	製造装置は回復に遅れ メモリは低調	セミコンダクターに次いで回復
	要員動向	堅調	低調	セミコンダクターに続いて 徐々に増加

業界動向についてです。

先ほどお話ししたとおり、オートモーティブインダストリーは、サプライチェーンやパワー半導体を含めた半導体不足の問題も解消し、堅調に推移しています。

しかしながら第3四半期の途中から、度重なる稼働停止の影響を受けています。

セミコンダクターインダストリーについては、期初に想定していたより回復が1四半期程度後ろにずれ込んでいるものの、第4四半期になって堅調に推移し始める半導体メーカーが出てきています。

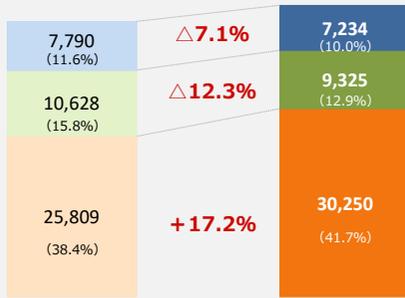
エレクトロニクスインダストリーについては、例えば自動車や通信機器その他に実装されていく半導体と連動しているため、こちらの影響を色濃く受けることとなります。

スマートフォンを含めた通信機器は停滞気味ではあるものの、最近の自動車は従来のエンジンからハイブリッドエンジンやEV化がかなり進んできています。そのため、自動車向けのエレクトロニクスインダストリーの工場については徐々に増え始めており、これから活況を呈していくのではないかと考えています。

連結売上高構成比

(単位：百万円)

オートモーティブ セミコンダクター エレクトロニクス



※ ( ) 内%は連結売上高比、赤字の%は、前期比伸長率

	売上高	稼働動向	要員動向
<b>エレクトロニクス</b> (電子機器製造業界)	前年同期比で 7.1%減少	低調も 一部回復傾向	低調も 一部回復
<b>セミコンダクター</b> (半導体製造業界)	前年同期比で 12.3%減少	製造装置 半導体メモリ は低調 パワー半導体 は堅調	低調
<b>オートモーティブ</b> (自動車製造・EV関連製造業界)	前年同期比で 17.2%増加	認証問題等で 稼働が伸びず	堅調

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

スライドは、インダストリー別の売上高構成比です。

我々は2026年から2027年にかけて、国内で大規模な工場が立ち上がるという情報のかねてからキャッチしており、これに伴う人材ニーズを確実に受注していくための戦略を、1年近く前から打ち始めています。

その中でも特に半導体の分野においては、熊本からスタートした新工場の動きが各地に飛び火しながら、2024年の熊本第2工場着工、北海道千歳市の新しい半導体メーカーの量産化に向けた動きなどもあり、このような動きに対応するためのアクション、準備を進めてきました。

もう1つはバッテリーです。こちらも日本の国策的な製品目です。昨今では経済産業省も大きな予算をつけており、2026年後半から大型のバッテリー工場が日本各地に展開されるという情報も得ています。また自然エネルギー対策やゼロカーボンなどが進む中で、定置型のバッテリーもかなり活況を呈してくるだろうといわれています。

これらに向け、人材育成のための対策、あるいは営業の対応などを進めていきたいと考えています。

# 採用の強化に向けて

## 集客とマッチング力の強化

物流2024



人材ミスマッチ



社会課題

人材ニーズの多様化



サービス業人材不足

少子高齢化



都市人口集中



求職者ニーズ

Vector Shinwa

Nisso Brain

NISSO 日総工業株式会社

Leaf NxT

株式会社ニコン日総プライム

日総びゅう株式会社

日総ニフティ株式会社

顧客ニーズ

社会課題と多様化する人材ニーズに対応するため  
グループシナジーを活かした採用手法を開発し、事業拡大に繋げる

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

24

スライドは、2026年、2027年のビッグプロジェクトを確注するための、人材獲得に向けた1つの考え方を示したものです。

当社は自社サイトを積極的に活用することにより、他社と比べて大きく採用コストを抑えることができます。毎月採用している800名以上の方々の半分は自社サイトを経由しており、人を採るという面でも大きな武器になっています。この自社サイトを、今後さらに拡充していこうと考えています。

そして、約2年前から行っている新しい試みである「人材会社を中心にした、うまくマッチングできない方々をお互いに融通し合う採用コンソーシアム」ですが、さらに我々と親和性の高い他業種も含めて拡大していくことと、それを効率的に行うためのプラットフォーム作り着手し始めています。

また、よりマッチングの精度を上げていくため、AIの技術を積極的に活用していく考えです。



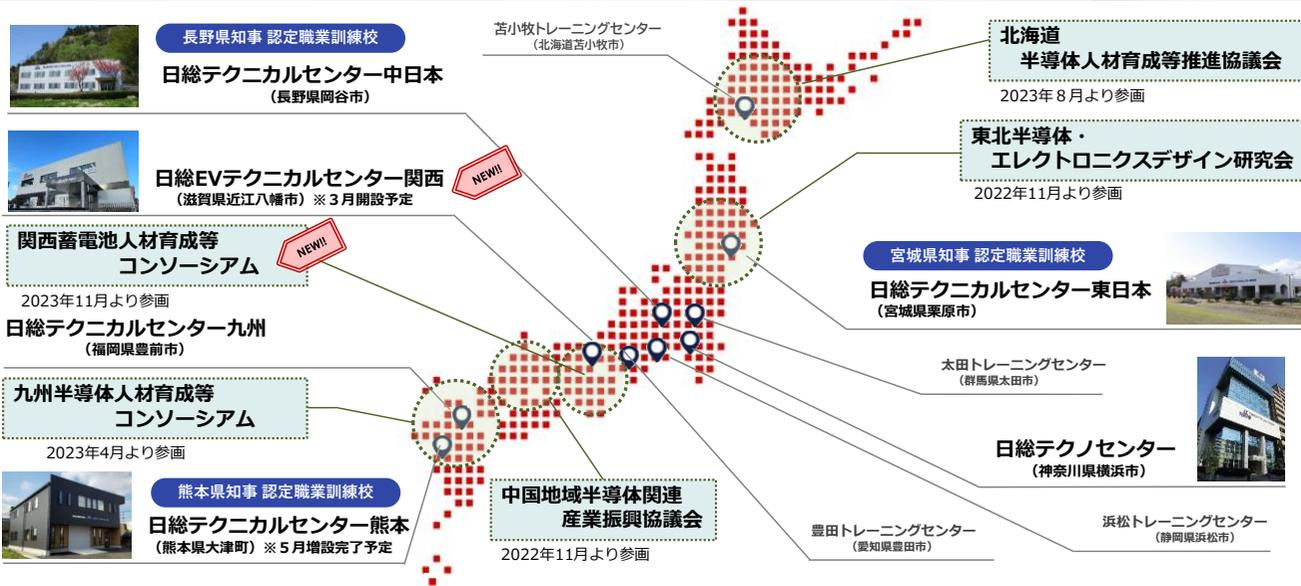
人材の質向上のための戦略です。

スライドに記載のとおり、現場で働く方々のキャリアアップ制度の充実や、昨今ではキャリアパスアシスタント、いわゆるキャリアカウンセリングにより「どのような方向で自分のスキルを上げていきたいのか？」について、働く方々を手厚くサポートしていく仕組みです。

また、製造現場で働く方がエンジニアにキャリアチェンジすることを促進する仕組みや、研修施設の充実も行っています。後ほど詳しくお話しますが、従来の半導体の装置エンジニアに加えて、これから拡大してくる蓄電池向けの装置エンジニアの育成施設も拡充していきます。

研修の仕組みについては、VR/ARやeラーニングのような新しい教育の方法も開発しています。

## 研修施設の全国拡大と産官学連携により高付加価値人材を輩出



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

26

研修施設についてご説明します。

これまで九州地方や中国地方、東北地方、北海道などで、半導体を中心にした産官学のコンソーシアムに参画してきました。その中での我々の役割としては、「量産技術を確立するために必要な人材をどのように育成してお客さまに配属するか」という立ち位置でした。

昨年11月に、新しく「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」に参画しました。そして来月には、滋賀県に新しく蓄電池向けの「日総EVテクニカルセンター関西」を開設する予定で準備しています。

半導体については、例えば北海道エリアの工場の状況が見えてきた段階で、北海道にもう一段、半導体の人材育成のためのセンターが必要になってきます。また蓄電池においては、おそらくその特性上、自動車のボデーメーカーがあるところからあまり遠くないところに工場を誘致することになると考えています。例えば愛知県や九州などのエリアに、蓄電池向けのテクニカルセンターの開設が必要になるだろうと思っています。

● 2024年3月期 第3四半期 教育実績（延べ人数）

ポイント

- ・当社グループは、独自の「人材育成モデル」を構築。高度なOff-JTにより高付加価値サービスを提供。
- ・介護・福祉サービスでは、サービス品質を担保するためOJTのみならず定期的なOff-JTが実施できる体制を構築。
- ・教育訓練の外部展開も実施。クライアントのニーズに沿った教育コンテンツを提供。

区分	研修内容	24年第3四半期累計
(直接系) エンジニア系研修	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 産業用ロボット特別教育等	1,057名
(直接系) 製造生産系研修	ものづくり教育 職長教育 危険体感教育等	13,209名
(直接系) その他研修	コンプライアンス定期教育 キャリア支援研修 資格（レベルアップ）研修等	1,371名
介護・福祉研修	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修 事故発生防止リスクマネジメント研修 感染症・食中毒予防研修等	1,480名
合 計		17,117名
外部社員研修（受託）	機械保全基礎 製造設備基礎 危険体感教育等	148名

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

27

日総グループの教育実績についてです。

今期は、我々がエンジニアを数多く輩出しているセミコンダクターインダストリーが振るわず、プロジェクトが後ろにずれ込んだという状況等がありました。そのため、昨年と比べると対象人員が若干減っているという状態です。しかし、ここから再び動き始めたため、またドライブをかけていこうと考えています。

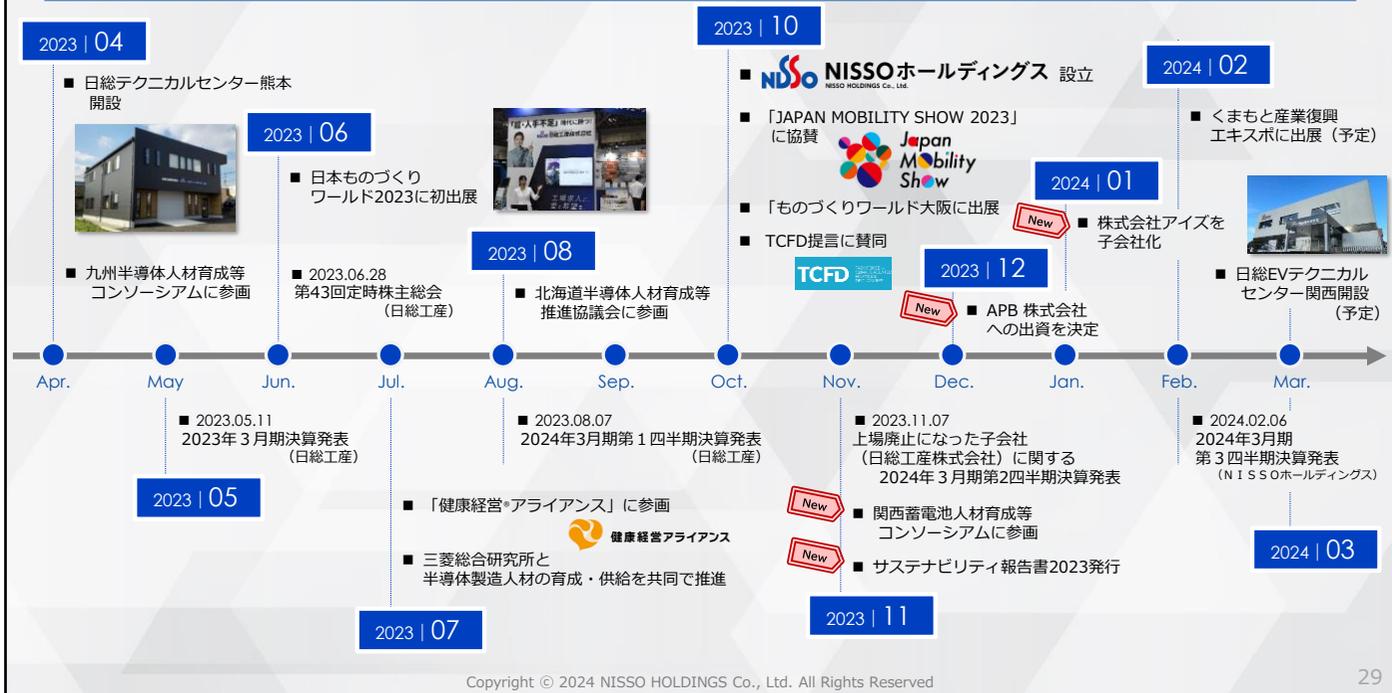
介護・福祉サービスについては、人の命を預かる大変重要な仕事です。そのため人材会社として、OJTだけではなく導入前訓練、Off-JTで確実に基礎を身につけ、OJTに臨んでいくことをさらに強化していきたいと思えます。

外部社員研修（受託）については、既に我々のセミコンダクターインダストリーの複数のお客さまから教育訓練の委託を受けています。これは我々の教育レベルが、お客さまの社員の方々にも十分対応できるレベルに達しているという、1つの評価の証でもあると考えています。

4

## 日総グループ トピックス

# トピックス 2024年3月期



Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

スライドに、今年度のトピックスを記載しています。  
2023年10月のホールディングス設立から、成長に向けたいろいろな取り組みを矢継ぎ早に行っていることがわかりいただけると幸いです。

今後も、成長に向けた買収や資本業務提携、資本参加等の積極的な推進を考えています。



## 株式会社アイズを子会社化

- ・株式会社アイズは、首都圏を中心にIT領域における派遣・受託事業を展開。
- ・工作機械メーカーへの製造派遣・請負事業も手掛ける。
- ・当社グループが現在保持していない新たな事業領域（ITインフラ・システムエンジニア領域）における収益基盤獲得により製造生産系およびエンジニア系サービス拡大を目指す。



## 全樹脂電池メーカーである APB株式会社へ出資決定

- ・APB社は「全ての人々がエネルギーにつながる持続可能な未来を創る」をミッションに掲げ、全樹脂電池を開発製造。
- ・全樹脂電池は、自由形状で、大規模蓄電池にも応用可能な次世代のリチウムイオン電池。
- ・全樹脂電池の生産拡大への量産技術支援を目的として出資を決定。

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

30

トピックスを4つご紹介します。

1つ目に、株式会社アイズを子会社化しました。我々の弱点だったIT領域の事業を展開している会社であり、仲間になっていただくことでIT領域の強化を目指します。

また、我々が今後力を入れていきたいと考えている生産設備の中の工作機械メーカーの製造請負や派遣を手がけていることもあり、当社グループとのシナジーを生みながら、お客さまの満足度をさらに上げていきたい考えです。また、さまざまな領域でキャリアを積み上げる、あるいはキャリアをチェンジして新しいことに挑戦できる環境を整備するための施策でもあります。

2つ目は、APB株式会社への出資決定です。こちらは大変ユニークで新しい技術である、全樹脂電池を開発・製造している会社です。蓄電池の領域への展開に向けた1つの取り組みとしてご覧いただければと思います。



## 「日総EVテクニカルセンター関西」開設を発表

- ・日総工業は、2024年3月中旬に「日総EVテクニカルセンター関西」の開設を予定。
- ・関西地区での蓄電池人材を育成する中核研修拠点として設立。
- ・近畿経済産業局が設立した「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」に参画し連携強化。



## 日総テクニカルセンター熊本を増設を発表

- ・2024年5月増設完了予定。  
半導体製造向け人材の育成に特化した日総テクニカルセンター熊本の隣接地に新たな建屋を建設。  
建屋の延床面積は既存施設の約2倍。
- ・研修対応人数は既存施設を含めて年間300名以上、現状の3倍を想定。

3つ目は、「日総EVテクニカルセンター関西」の開設です。3月中旬に新たなEVテクニカルセンターとして滋賀県に開設予定です。

4つ目として、「日総テクニカルセンター熊本」を増設を発表しました。これまで、熊本のセンターから輩出できるエンジニアは年間100名程度でしたが、5月に当センターの増設が完成することで育成能力が3倍に上がり、年間300名の装置エンジニアを輩出可能となる想定です。

## 5 今後の見通し (2024年3月期)

## 2024年3月期 通期連結業績予想の修正

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年10月2日に公表いたしました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2024年2月6日に公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### ●2024年3月期通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想		今回修正予想		前回発表予想比	
	予想	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	100,000	100.0%	97,000	100.0%	△3,000	△3.0%
営業利益	3,600	3.6%	2,800	2.9%	△800	△22.2%
経常利益	3,600	3.6%	2,800	2.9%	△800	△22.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,300	2.3%	1,800	1.9%	△500	△21.7%

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

33

下方修正についてご説明します。

下方修正の大きな原因として、先ほどからお伝えしているオートモーティブ領域で、頻発する稼働停止問題があります。

今の段階では、第4四半期の動向は我々も確実な情報を得られていません。今立ち入り検査をしている国土交通省の判断によっては、かなり大きな影響が出るのではないかと考えています。そのため当初より営業利益ベースで8億円程度の下方修正をしている状況です。

## 6 株主還元方針

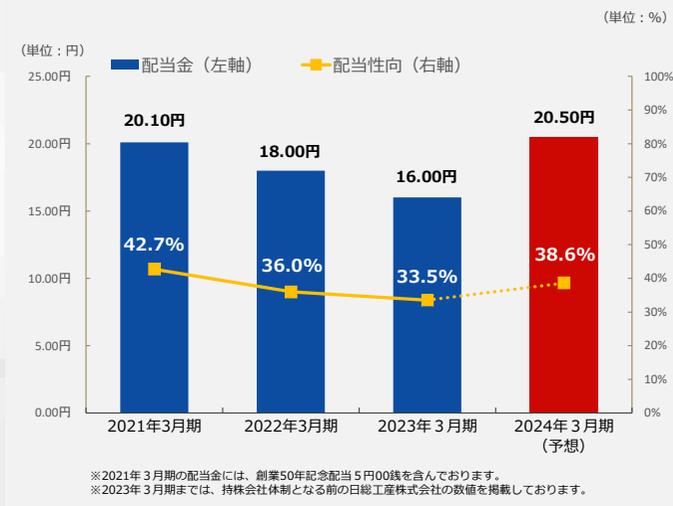
## 基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

## 2024年3月期の配当予想

業績予想の修正をいたしました。一株当たり配当予想額（20.50円）は据え置きとしております。これにより配当性向は38.6%になります。

## 配当金と配当性向



株主還元方針です。

20円50銭の配当予想額は、据え置きとしています。結果として、当初計画より収益が8億円下振れしたため、配当性向は38.6パーセントとなります。

## 7 財務状況 (2024年3月期 第3四半期)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

	23年3月末		23年12月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	<b>21,747</b>	<b>72.3</b>	<b>21,608</b>	<b>71.5</b>	<b>▲138</b>
現金及び預金	9,800	32.6	9,061	30.0	▲738
売掛金	10,986	36.5	11,293	37.4	306
<b>固定資産</b>	<b>8,344</b>	<b>27.7</b>	<b>8,624</b>	<b>28.5</b>	<b>279</b>
有形固定資産	4,660	15.5	4,935	16.3	274
無形固定資産	1,514	5.0	1,383	4.6	▲130
投資その他の資産	2,169	7.2	2,305	7.6	135
<b>資産合計</b>	<b>30,092</b>	<b>100.0</b>	<b>30,233</b>	<b>100.0</b>	<b>140</b>
<b>流動負債</b>	<b>12,187</b>	<b>40.5</b>	<b>12,041</b>	<b>39.8</b>	<b>▲145</b>
未払費用	6,119	20.3	6,655	22.0	536
未払法人税等	555	1.8	32	0.1	▲522
賞与引当金	1,395	4.6	781	2.6	▲614
<b>固定負債</b>	<b>3,097</b>	<b>10.3</b>	<b>2,758</b>	<b>9.1</b>	<b>▲338</b>
長期借入金	2,019	6.7	1,651	5.5	▲367
<b>負債合計</b>	<b>15,284</b>	<b>50.8</b>	<b>14,800</b>	<b>49.0</b>	<b>▲484</b>
<b>株主資本</b>	<b>14,563</b>	<b>48.4</b>	<b>15,161</b>	<b>50.1</b>	<b>597</b>
非支配株主持分	239	0.8	262	0.9	23
<b>純資産合計</b>	<b>14,807</b>	<b>49.2</b>	<b>15,432</b>	<b>51.0</b>	<b>624</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,092</b>	<b>100.0</b>	<b>30,233</b>	<b>100.0</b>	<b>140</b>

### Point

#### ①稼働人数拡大による増加

製造系人材サービスの稼働人数拡大他により、流動資産の「売掛金」及び流動負債の「未払費用」が増加しました。

#### ②返済

借入金の返済により、流動資産の「現金及び預金」及び固定負債の「長期借入金」が減少しました。

#### ③納税

法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」が減少しました。

#### ④賞与支給

夏季賞与及び冬季賞与の支給により、流動負債の「賞与引当金」が減少しました。

#### ⑤全体

上記の結果、前期末比で資産合計が0.5%増加、負債合計が3.2%減少、純資産合計が4.2%増加となり、自己資本比率50.2%となりました。

貸借対照表です。

スライド右側に、貸借対照に影響を及ぼした事柄を記載しています。

## 8 用語集

用語	説明
製造派遣	「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に従い事業を行っており、自動車製造、半導体製造、電子機器製造をはじめとしたメーカーに対し派遣サービスを提供。業務の指揮命令権は派遣先であるメーカーにあり、雇用元は派遣会社となる。採用や給与計算など労務管理に関わる手続き等は雇用元である派遣会社が行う。
製造請負	自動車製造、半導体製造、電子機器製造をはじめとしたメーカーに対しサービスを提供。製造メーカーの工程・設備の一部、または全体を使い請負会社が、生産、品質管理、労務管理及び職場運営体制を構築する。発注者（メーカー）からの注文に対し、請負会社による管理体制のもと製造や加工、検査等を行い、完成品（成果）を発注者に納品する。
人材育成モデル	高付加価値人材の育成を行うためのモデル。当社グループ独自の高度なOff-JTを用いて人材を育成することで、職場配属後の習熟が早く定着の良い人材をお客様に提供する。
インダストリー戦略	総合人材サービスの事業拡大に向けて、当社グループが注力する産業（インダストリー）ごとのニーズに積極的かつスピーディに応えていくための戦略。
離職率	累計退社数を毎月の平均在籍人数の合計で割った数字。該当期間の平均退社率を表している。
日総テクニカルセンター	自動車・電気・半導体など様々な業種に対応する専門性の高い技術者の教育を行う大型の教育訓練施設。トレーニングセンターよりも幅広い教育を行う事が可能で、研修受託サービスにも対応できる。
日総トレーニングセンター	特定の業種に向けた専門技能教育を行う教育訓練施設。主に特定メーカー様への配属を前提とした教育・訓練を行う。

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

39

用語集です。

あまり一般的ではない用語について解説しています。資料を見ていく中で疑問に感じるところがありましたらご覧ください。

以上で、決算説明を終了します。ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

NISSOホールディングス株式会社 IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso-ir.com

URL <https://www.nisso-hd.com>

Copyright © 2024 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved